



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC9 月第 1 例会 (2015.9.1) No.3101

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

川上善兵衛 慶応四年、明治元年(1868)～昭和十九年(1944)

上越市北方(旧・頸城郡北方村)で生まれた。幼名を芳太郎、父・邦直、母・コウの長男として誕生する。家は代々の地主で、所有する農地は、近隣にも及ぶほどであった。

父・善兵衛が明治八年、二十代の若さで亡くなったため、わずか八歳で六代目を継ぐことになった。母と二人の妹が残された。

祖母の実家である上越市の森本家、祖父の実家である名立町の竹田家で育てられた。糸魚川市杉野瀬の杉野瀬小学校を卒業、上越市の木村容斎の塾で漢籍を学んだ。

容斎塾で学んだ後、上京、福沢諭吉の慶応義塾大学に入学するものの、学校生活に馴染めず僅か三ヶ月で退学する。郷里に戻った善兵衛は、家で漢文の勉強をする一方、英語、フランス語の勉強を行った。

明治十九年、上越市三和(旧・中頸城郡三和村宮崎家の二女、ヲコウと結婚する。共に十八歳であった。文明開化の機運が我が国全体で高揚する中、福沢諭吉の「学問ノススメ」、遣米使節を乗せ「咸臨丸」太平洋を横断した、勝海舟の近代化への考えに大きな影響を受けた。

上越に戻った善兵衛は、郷土に殖産産業の礎を、丘陵地を開墾し、新しい産業で雇用の場を確保するため葡萄栽培、ワイン生産に的を絞った。

明治二十年、新婚間もないヲコウを残し、ブドウ栽培で先進地であった山梨に単身乗り込んだ。フランスでワイン作りを学んだ土屋龍憲、アメリカでのワイン製造を身に着けた東京の小沢善平にそれぞれワイン造りを学んだ。

三年後、地元に戻った善兵衛は、自宅の庭や丘陵地を開墾する事業から始まった。翌年には、九種、百二十七株の洋種ブドウ苗木を植栽した。翌年の秋、パレスタイン、そのほか数種類の洋種の葡萄が収穫された。岩野原ワイン誕生の瞬間であった。

明治三十四年発行の著書「葡萄栽培提要」に主果実選定の真意を語っている。

「農業経済論をひもとき大に農業経済のゆるがせにせざるべからざることを悟り、工作物の選択は農業者の最大急務足ることを知れり。ここに於て試験的に果樹を開かん

と欲する念兆す。……愛に一植物の在るなり。他無し。是れ即ち葡萄なり。」

荒れ地や不毛の土地など、傾斜地を利用しての葡萄栽培は軌道に乗り始めた。だが、究極の目的であるワイン造りは難産の連続であった。

明治二十六年、最初のワイン醸造にあたったが、酸味が強く売り物にならなかった。翌年、本格的な醸造用の地下石蔵を作り、三年後の秋、従来の開放醸造から、発酵桶を密閉装置で醸造した結果、飲めるワインが完成した。

その後、氷室の貯雪を利用して石蔵の冷却にあたった結果、良質のワイン製造に成功した。何れも、善兵衛の苦心の末の製造法で、上越地区の土壌と気候を計算した上での試行錯誤の連続で、初めは土地の人にも理解してもらえない苦労の連続であったが、「ワインの父」となった努力に本気度を感じてきた。

五石余からスタートしたワインも、明治三十四年には、六百石を超え、ブドウの種類も三百五十種を数えるまでになった。

栽培の基となる、株づくり、垣根づくり、棒づくり、棚づくり、にそれぞれ取り組み、改良を加えることを怠らなかった。

棚づくりでは、材料となる鉄の線に代わって竹や木を使用し、雪が降る前に取り外しが出来るように改良し、ブドウの樹木を雪害から保護する独自栽培を考案した。

当時のワイン作りの葡萄は、アメリカ国種類は、気候風土には合うが、特有の狐臭を持ち、欧州系品種は、ワイン生産には適しているが、栽培が困難であった。

このように一長一短の外国系種類に頼るのではなく、国産種の開発の必要性を痛感し、国産ワイン製造の品種改良にあたる決心をする。

大正十一年、淘汰選抜、交種育種があるが、善兵衛は、双方の長所を生かした基本樹を採用し、新しい株を、種子から育成する方法でスタートさせた。交配、生長、開花、結実、病虫害への耐性の研究に乗り出した。

この研究には、五年から二十数年という年月を必要とし、ライフワークとなる。

昭和九年には、経済不況の影響もうけたことから、現在のサントリー(寿屋)の創始者鳥井信治郎と共同でワイン作りにあたることとなった。

仲人役となった人物が、同じふるさと、上越市頸城区（旧・中頸城郡頸城村）出身で、東京帝国大学教授、微生物学、発酵学の「酒博士」坂口謹一郎であった。坂口は、研究室に突然訪ねてきた鳥井信次郎に話した。「いくら醸造技術が向上しても良質な葡萄が出来なければ良いワインは出来ない。

今日本で頼るべきは川上善兵衛翁しかいない旨を申し上げました。」

この一言で、坂口、鳥井、川上の三人が、がっちりスクラムを組むことになった。

昭和十一年(1936)「株式会社岩の原葡萄園」がここに誕生することになった。

経営を寿屋に移管した善兵衛は、益々品種改良に取り組み、「マスカット・ベリーA」「ブラック・クイーン」「ローズ・シアター」「ベリー・アリカントA」「レッド・ミルレニニューウム」など優良二十二品種が誕生している。

中でも「マスカット・ベリーA」は、全国の葡萄産地で生産されている。

交配に依る葡萄品種の育成では、「而して茲に至るまで二十年間、我家を重んじ予を愛するものの切なる諫言は、恰も鼓膜を穿たるゝが如く予が耳に響きたりしは最も苦慮したところなりき」と、回顧している。

晩年、ふるさとを愛した善兵衛は、地元の村長に就任、また、小学校の建設にあたった。葡萄栽培に関係した書物も多く「交配に依る葡萄品種の育成」で、日本農学賞を受賞している。七十六歳の生涯を北方の自宅で閉じた。

(3) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(4) 100%出席バッチの贈呈

八島 進君 2年 竹石 松次君 8年
横山 芳郎君 27年

(5) 誕生日お祝い贈呈（11名）

(6) 結婚記念日お祝いの紹介（5名）

(7) 新会員の紹介



東北電力(株)新潟支店
上席執行役員新潟支店長
武田 眞二君
ご紹介 高橋 康隆君
所属委員会 国際奉仕委員

このたび、栄えある歴史と伝統ある名門新潟ロータリークラブに入会させていただき、この上なく光栄に存じます。また、お仲間に入れさせていただく機会に恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいであります。2007年から2010年までの3年間、三条ロータリークラブの会員でありました。諸先輩ロータリアンの皆様、宜しくお願い申し上げます。



(株)BSNウェーブ 代表取締役社長
近藤 正典君
ご紹介 金親 顯男君
所属委員会 プログラム委員

この度、伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂きましたBSNウェーブの近藤です。私は昭和54年に新潟放送に入社しまして、主にラジオ・テレビの番組制作と報道の仕事に携わってまいりました。仕事を通して硬軟取り混ぜ様々な体験をしましたが、その現場で多くの方々に出会えたことが、私の最大の財産です。2年前より私の前任であります相澤信介様に替りBSNウェーブの社長を勤めております。根は燕の洋食器作りの職人の倅で「がさつ」を絵に描いたような人間で、何にも興味を持ってしまう傾向があるようです。自慢できる趣味はありませんが、1960年代から90年位までの洋楽は好きと仕事が一貫して相当詳しくなりました。「あの曲は何だっけ？」などありましたらご相談ください。音源も含めお答えできるかと思います。こんな私ではあります。が皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

(8) 玉知夫君ホノルルRCメークアップ報告

(9) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

本間 彊君 織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(若杉 武副委員長)

徳山 啓聖君 本間 彊君

竹石 松次君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

本間 彊君

(10) ニコニコボックス紹介(堀 盛富委員)

・金親 顯男君 近藤正典さんの入会を歓迎して。ゴルフ、野球期待しています。

・八島 進君 本日、新たに仲間入りされた東北電力の武田さんの入会をお祝いし、ニコニコします。仕事でもアフターファイブでも「古町の明かり」を決して消すことなく古町の活性化の為ご尽力をお願いします。

・本間 彊君 去る8月27日、外務省飯倉会館にて日本とフランスの交流が評価され、新潟・フランス協会の活動に対して外務大臣表彰を賜ってまいりました。皆様のご助力とご指導のおかげと感謝申し上げます。

・若杉 武君 手術後、5ヶ月ぶりにゴルフをプレーしました。スコアーはとにかくプレーできたことを喜んでニコニコします。パートナーの皆さんお世話になりました。

(11) 卓話「チョットだけボイストレーニング」

ブリリアントボイス主宰 前田 綾子 氏

(12) 本日の出席率 84.21 %

会員数99名（出席免除会員9名）

出席者80名（出席免除会員5名を含む）

(2週間前メーク後 85.11 %)

9月2日 理事会報告 出席者12名

1 前年度決算報告（安藤栄寿直前幹事）＝承認
支出の部 納会補助金の表記について確認あり。

2 地区大会登録状況について

現状で 33 名の参加申込があること、未回答者が
37 名あることを報告。

3 9月のプログラム＝承認

9月 1日 卓話「チョットだけボイストレーニン
グ」ブリリアントボイス 前田綾子氏

9月 8日 会員スピーチ

SMBC 日興証券（株）新潟支店長 中山泰君

9月15日 卓話「南極隊の越冬体験記」

株式会社ミサワホーム総合研究所 井熊 英治 氏

9月22日 祭日

9月29日 会員スピーチ

（株）ミタカ取締役副社長 秋山 博一君

4 日本子ども虐待防止学会広告掲載依頼について
（徳永理事）

徳永理事に対応を確認してもらい、協賛金 50,000 円
拠出することとする。

5 新会員の推薦申込について（石本理事）

実態に合った運営が肝要である。書式の検討は続け
ながら、細則の見直しも必要ではないか。

9月15日の例会予定

卓話「南極隊の越冬体験記」

株式会社ミサワホーム総合研究所 井熊 英治 氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>